

シェール革命が及ぼす水素時代の技術動向

～この激動の一年を振り返った上での展望を探る～

燃料電池自動車が、2015年から商用化が始まるとされ、将来的には水素貯蔵材料による効率的でコンパクトな水素搭載技術の確立が期待されている。

現在、シェールガス革命の余波が押し寄せてきており、シェールガスの増産につれ、メタノールを精製し、それを原料として水素が作れるようになってきた。

2012年から本格的に始まった“シェール革命”が今後の水素社会にどのような影響を与えていくのか。この一年を振り返り、近未来における水素時代の燃料電池自動車およびエネルギー貯蔵への応用技術の今後を展望する。

開催日時	2014年2月20日(木) 13:30～16:40	【会場】 中央大学駿河台記念館 3F 310会議室 〒101-8324 東京都千代田区神田駿河台 3-11-5
受講料	36,750円(税込) ※資料代金	
講師	幾島賢治氏 愛媛大学客員教授	13:30～15:00 (質疑含)

このセミナーは

演題： シェール革命が起爆剤となる水素社会の未来像

1. シェール革命と水素
2. シェール由来の新水素源による水素製造、運搬、貯蔵の現状および未来
3. 新水素源による分散型発電、水素燃料車のエネルギー構造の変化
4. 廉価な水素発現による水素社会の未来像とは

終了しました

講師	丸田昭輝氏 (株)テクノバ 調査研究部 主査	15:10～16:40 (質疑含)
----	------------------------	-------------------

演題： ニューエネルギー時代における水素の役割と業界動向

1. 「オオカミが来た！」ではなくなったFCV商用化
2. 自動車メーカーとエネルギー企業の動向
3. EVとFCVの棲み分け、蓄電池と水素の棲み分け
4. 世界の動向(米国、ドイツ、イギリス、北欧、韓国など)

※プログラム充実のため内容が変更になることもあります。

主催：(有)シーエムシー・リサーチ

(本セミナーの申込受付、請求書の送付等手続は主催者の(有)シーエムシー・リサーチが行います)

弊社記入欄	セミナー申込書 (S&T 出版) (DM-N)	
セミナー名	シェール革命が及ぼす水素時代の技術動向	
所定の事項にご記入下さい	会社名(団体名)	TEL :
	住所 〒	FAX :
	部署 役職	E-mail :
氏名		
お支払方法	(ご便宜の方法を○で囲んで下さい。) 銀行振込・郵便振替	お支払予定 2013年 月 日頃

■申込方法：セミナー申込書にご記入の上、FAXまたはE-mailでお申し込みください。

折り返し、聴講券、会場地図、請求書を送付いたします。

■申込先：(有)シーエムシー・リサーチ 東京都千代田区神田錦町2-7 TEL03-3293-7053

参加申込 FAX 番号
03-3291-5789
(E-mailでの申し込みは re@cmcre.com)